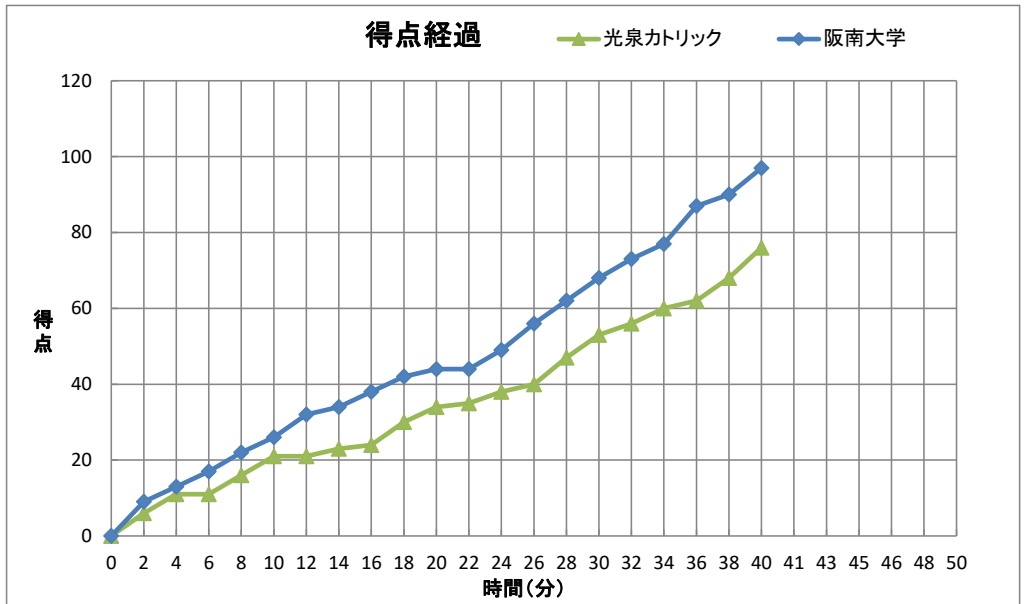




令和4年度  
第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子		2月18日		17:40 開始															
準々決勝		滋賀ダイハツアリーナ		C															
光泉カトリック 76		<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>26</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>29</td></tr> </table>		21	1st	26	13	2nd	18	19	3rd	24	23	4th	29	97		◎ 阪南大学	
21	1st	26																	
13	2nd	18																	
19	3rd	24																	
23	4th	29																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	阪本 彪賀	7	0	3	1	2	* 4	ソウケン* チキドク ヨツウケル	29	0	13	3	2						
5	福瀧 塁	-	-	-	-	-	* 17	福田 光星	12	0	6	0	0						
* 6	森川 弾	12	0	5	2	3	* 23	酒瀬川 和也	10	0	4	2	0						
7	佐藤 友泉	-	-	-	-	-	26	田深 翔太	3	0	1	1	0						
8	長嶋 泰知	-	-	-	-	-	27	杉本 瑛太	0	0	0	0	0						
* 9	石原 海翔	13	1	4	2	1	28	芝池 竜司	4	0	2	0	1						
* 10	奥村 新	4	0	2	0	5	32	影山 獅恩	-	-	-	-	-						
* 11	松下 慧士	0	0	0	0	1	33	吉田 晴秋	0	0	0	0	0						
12	柏原 和騎	14	4	1	0	0	* 35	酒井 優	10	0	4	2	2						
13	伊庭 釉惺	-	-	-	-	-	* 37	松本 星希	18	3	4	1	1						
14	藤澤 一成	20	4	4	0	3	54	川島 恭平	-	-	-	-	-						
15	佐藤 良祐	6	0	3	0	4	58	藤井 晴斗	5	0	1	3	2						
16	市川 大貴	0	0	0	0	0	67	児玉 遼太	0	0	0	0	1						
17	杉浦 大喜	0	0	0	0	2	87	楠川 力丸	0	0	0	0	0						
18	山本 蒼大	-	-	-	-	-	95	松井 翔希	6	0	3	0	3						
コーチ	寺田 均					0	コーチ	森本 正					0						
Aコーチ	梶本 祥史						Aコーチ	坂本 洋志											
合計		76	9	22	5	21	合計		97	3	38	12	12						
主審: 赤井 正史 副審: 高橋 竜太郎 副審: 石井 寛都																			



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:13	17:05	31:47	35:38	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

近畿高等学校バスケットボール大会準々決勝、光泉カトリック高校対阪南大高校の一戦。

第1Q、光泉、阪南大ともにゾーンディフェンスから入る。先制は阪南大#35のレイアップ。対して光泉は#8、#9のミドルレンジからのショットで応戦。阪南大は果敢にドライブを仕掛け、光泉のファールを誘う。開始6分、光泉がたまたま1回目のタイムアウト。その後、互いに激しい攻防が続く中、#4のブロックやリバウンドの活躍もあり、21対26と阪南大がリードして第1Q終了。

第2Q、お互いメンバーは変わらず、ディフェンスもゾーンディフェンスでスタート。光泉は巧みにボールを回し、#14がジャンプショットで応戦するも、阪南大のゾーンディフェンスを攻略するまでには至らず苦戦。対して阪南大は#4がオフェンスリバウンドで着実に加点し、点差を広げる。光泉は27対40と13点差まで広げられ残り3分で2回目のタイムアウト。その後、阪南大は#4を温存し、光泉が少し点差を縮め、34対44で前半終了。

第3Q、光泉はマンツーマンディフェンス、阪南大は引き続きゾーンディフェンスでスタート。光泉はアーリーオフェンスで攻め、加点を試みる。開始2分、光泉は再びゾーンディフェンスに変えるも、阪南大の速いオフェンスを守り切れない。その後も光泉は#14の3Pで阪南大に食らいつくも#4を起点に攻める阪南大の猛攻に苦しむ。終盤には#12が3Pを3本成功させるなど、何とか加点をし、53対68と阪南大が点差をさらに広げ3Q終了。

第4Q、ともにディフェンスはゾーンのまま。開始早々、阪南大は#37が、光泉は#12が3Pを沈める。その後、光泉は苦し紛れのシュートを打たされるなど、苦戦を強いられる一方、阪南大は#4を中心に着実に点数を重ねる。残り5分で60対83と点差が開き、光泉は後半1回目のタイムアウト。その後、#4を交代させる阪南大に対し、光泉は果敢にリバウンドに絡み、点数を重ねるも、阪南大のオフェンスを最後まで止められず、76対97で阪南大高校が勝利した。

戦評: 末次 賢伍 記録: 守山北高校